

第32次 銘心会南京友好訪中と交流の旅

☆ 第3回目の南京大虐殺犠牲者への追悼・国家公祭日に参加しませんか

☆ 南京大虐殺被害者の家を訪ね、聴き取りと「心のケア」をします

私たち「銘心会南京」は、毎年4月には死者を弔う「清明節」活動で南京を訪れて、南京大虐殺の被害者25名を自宅に訪問し慰問する「心のケア」をおこなっています。また、12月13日には、南京大虐殺犠牲者への追悼集会に南京現地で参加しています。そのほかにも春や夏にも戦争被害者の調査を行い、書籍や映画制作などの記録を残しております。

私たちは、日中両国の市民同士の理解と真の友好をめざして、1988年から南京大虐殺の事実を明らかにする研究と証言集会や交流活動、写真展覧会などを毎年途切れることなく、日本と現地南京、更にその他の国や地域で歴史研究と活動を進めてきました。多くの日本や中国の関係ある皆さん方に支えられ助けられて、今日まで歴史認識の運動を推進して来られたのだと言えるでしょう。深く感謝いたします。(侵華日軍南京大屠殺遇難同胞紀念館とは1997年から研究交流)

今年の12月は、南京大虐殺の跡地や紫金山の激戦地を訪れ、南京東郊外の生存者の自宅で体験の聞き取りをします。現地で戦争被害のお話を聞き、歴史の認識を深めたいと考えています。私たちは「歴史事実を知り真の友好を築く」為に、抽象論ではなく、実践を大切にしています。更に、このスタディーツアーには、2名の大学生の招待を行います。学生の自己負担金は4万円です。残りの費用は市民が支援をします。日中の歴史や文化に興味のある大学生、視野を広げたいと考えている大学院生を歓迎します。応募方法：氏名、住所、常用の電話番号、職業、大学名、学年(年齢) 応募理由800字程度(大学生のみですので市民の方は必要ありません)を書いて、下記メールアドレスで応募してください。多くの市民や、大学生の皆さん。事実を知ることが平和を考える第一歩です。ご参加をお待ちしています。

- 1、期間 2016年12月11日(日)～16日(金)までの6日間
- 2、人数、15人
- 3、費用大人一人 138000円 旅費には、航空運賃、強制保険、宿泊、食費、講演費用、通信事務費等を含みます。(出発日までに燃油追加料金など急遽発生した額と任意保険4千円程度が別途必要です。一人部屋希望は25000円加算)
- 4、締め切り：10月30日(日)です。航空会社の事情により締め切りが数日早まる事もあります。
- 5、旅行企画：銘心会南京・日中平和研究会、担当松岡：fax06-6628-8172 携帯 090-8125-1757
- 6、旅行取扱：GTT株式会社・大阪府知事登録旅行業第3-2737号、〒542-0073 大阪市中央区日本橋1-16-23 アクティオビル301号 Tel06-6606-9157、fax06-6606-9158(担当韓)

※現地交通機関や日程、内容については、中国側手配によりますので、健康や情勢の変化で変更の場合もあります。

日 程

- 12月11日(日) 飛行機 MU730 で関空発9:40、上海着11:00着、後上海慰安婦博物館見学、研究者の説明
 高鉄(新幹線)で南京へ 南京宿泊
- 12月12日(月) 生存者と共に下関埠頭～宝塔橋を歩き、1937年12月13日の体験の聞き取りをする 南京宿泊
- 12月13日(火) 午前：侵華日軍南京大屠殺遇難同胞紀念館 南京大虐殺犠牲者への追悼集会、大虐殺の起きた
 魚雷營追悼紀念碑(初)と清涼山追悼碑見学(初)夜のキャンドル追悼会参加 南京宿泊
- 12月14日(水) 南京郊外湯山の虐殺跡地を訪れ、南京大虐殺被害者の「心のケア」と体験者からの聞き取り 南京宿泊
- 12月15日(木) 侵華日軍南京大屠殺遇難同胞紀念館見学、日中最後の攻防戦紫金山へ登り(車で)、南京大虐殺研究
 中心教授の説明を受ける 南京宿泊
- 12月16日(金) 朝中山門見学 MU2859 南京国際空港14:30発～関空17:30着帰国 ご苦労様でした

申込用紙は記入の上、メール発信かFAXをしてください。mtoktmk@bird.ocn.ne.jp fax06-6628-8172

ふりがな	男	携帯Tel
氏名	女 年 月 日生まれ	
住所	〒番号()	e-mail
職業		
留守連絡	氏名 住所	Tel
旅券番号		一人部屋希望 しない する
旅券綴り	アルファベット綴り	旅券有効期限 年 月 日迄